

(1) 本県のがんを巡る現状

●がんの罹患状況

1 がん罹患数（山口県）

がん登録から本県の罹患数を見ると、近年12,000件前後で推移しており、令和3年においては、12,185件（男性：6,925件、女性：5,260件）となりました。

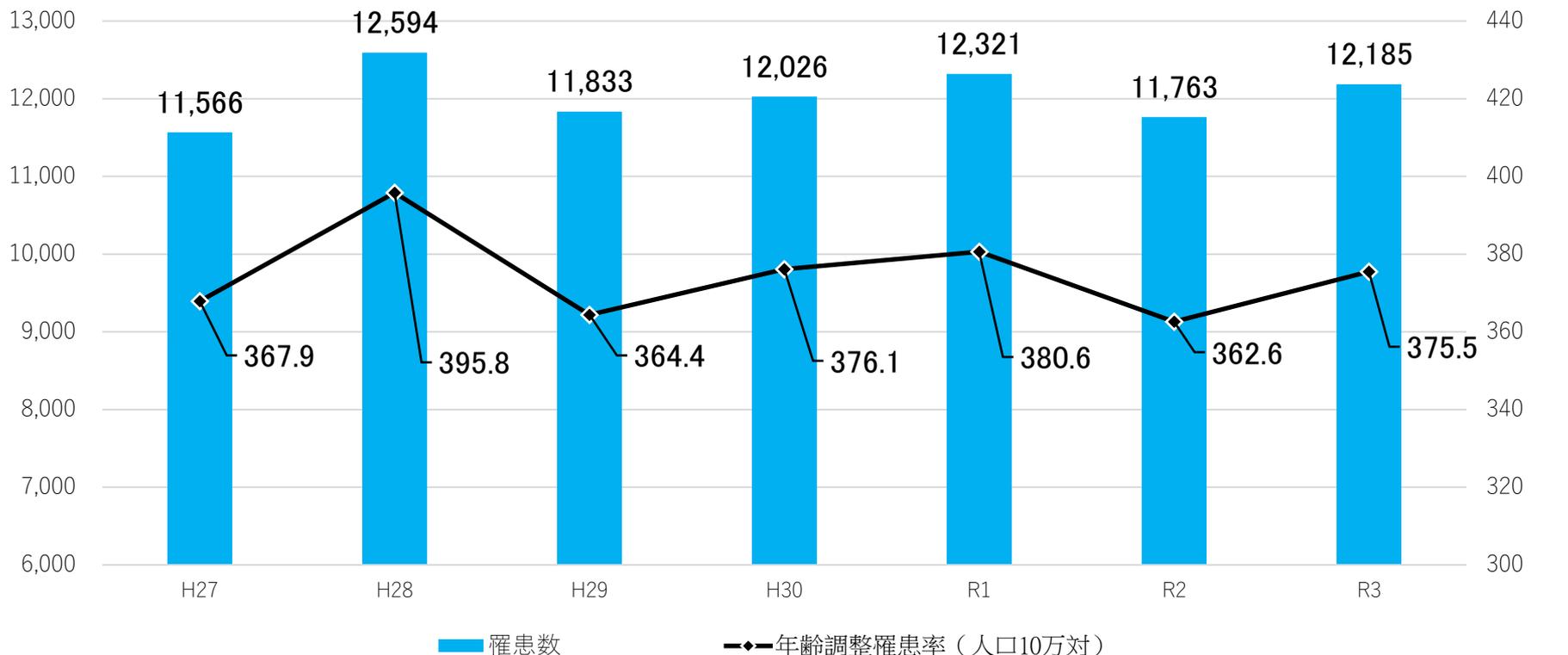
※がん罹患とは……がんにかかること。

※がん罹患数とは……対象とする人口集団から、一定の期間に新たにがんと診断された数（がんにかかった人の数ではない。）

※年齢調整罹患率とは…年齢構成の異なる地域間や年次間で罹患状況の比較ができるように、年齢構成を調整した罹患率（罹患数を人口で除したもの）のことです。

<図-1> がん罹患数、年齢調整罹患率の状況（令和3年）

罹患数（上皮内がん除く）



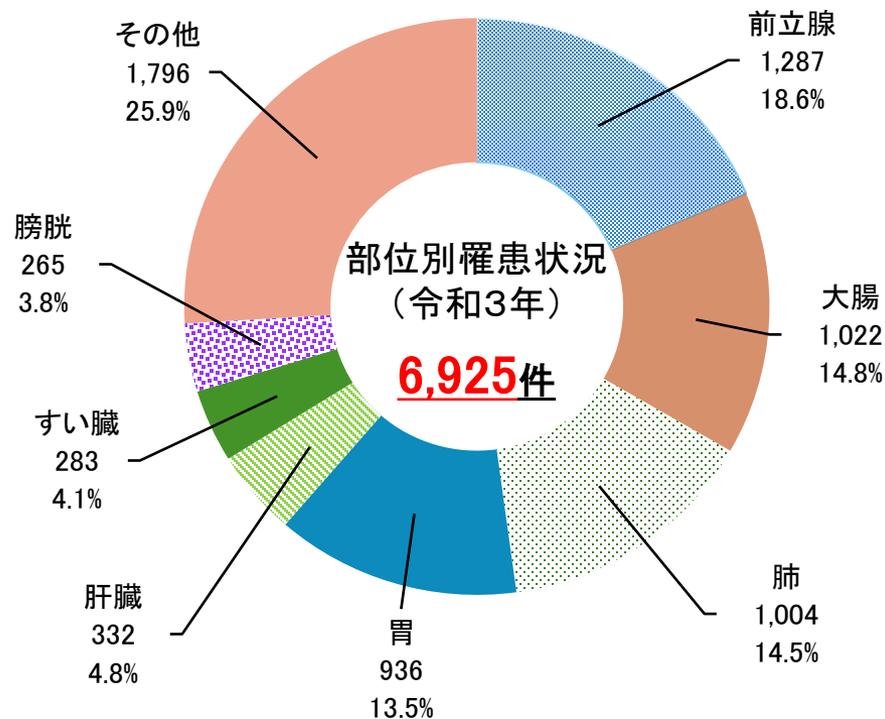
●がんの罹患状況

1 がん罹患数（山口県）

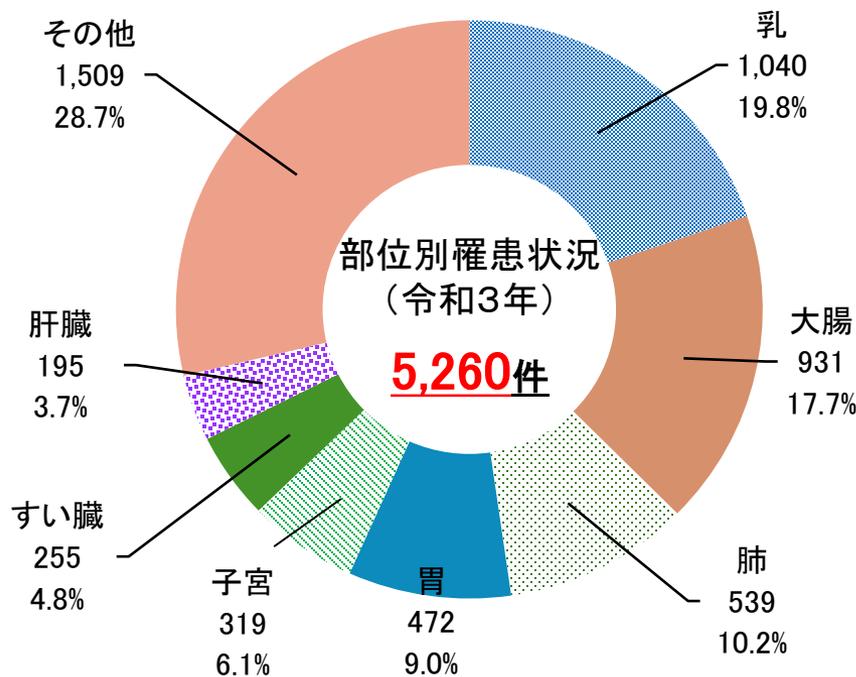
がん罹患数を性別・部位別に見ると、男性は前立腺、女性は乳房が最も多くなっています。

<図-2> 性別部位別がん罹患数の状況（令和3年）

【男性】



【女性】



●がんの罹患状況

2-1 部位別年齢調整罹患率の推移（山口県）

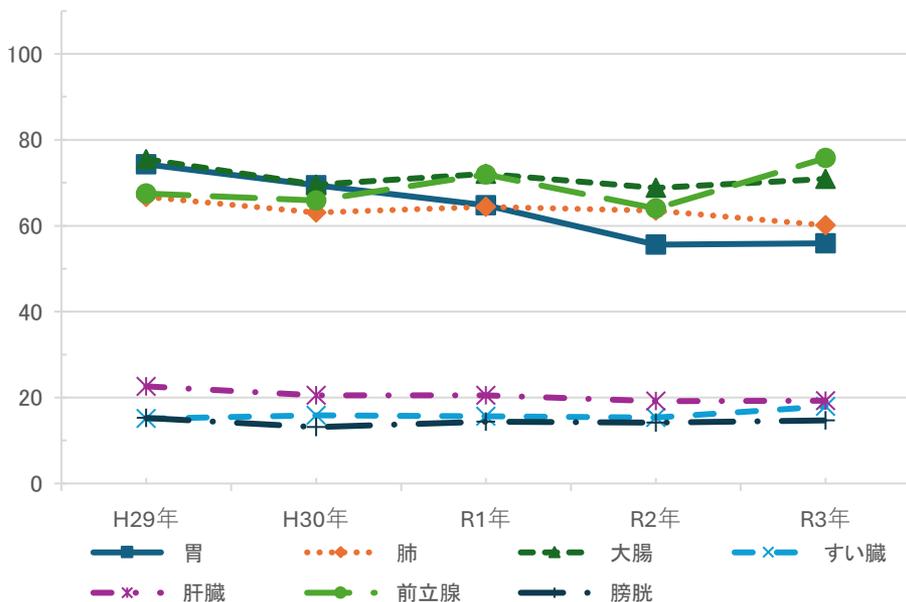
主な臓器（胃・肺・大腸）のがん罹患率は、男性が女性に比べて高くなっています。

令和3年は、男性は大腸、すい臓、前立腺がんが増加していますが、肺がんが減少しています。女性は大腸がんが増加していますが肺がんは減少傾向にあります。

<図-3> 山口県の部位別年齢調整罹患率の推移（令和3年）

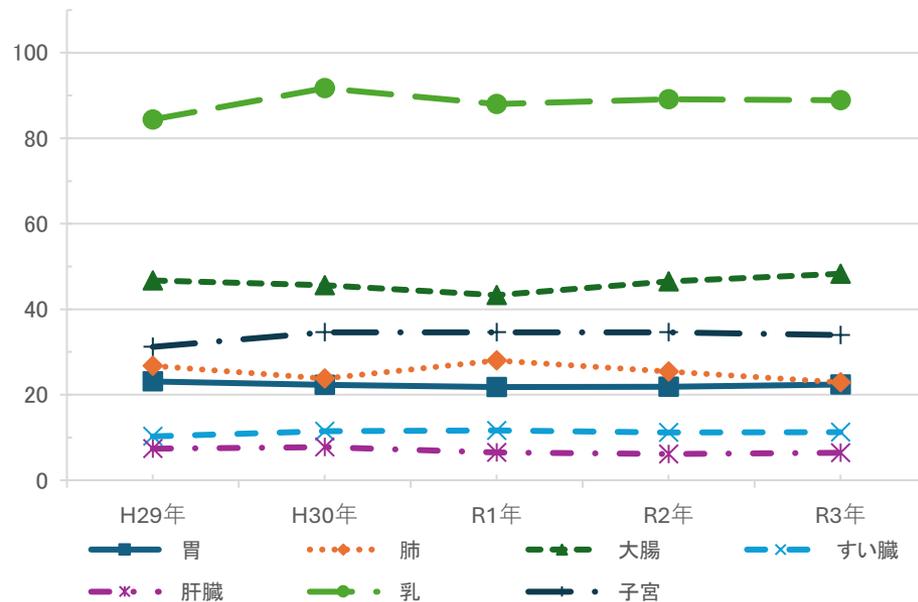
人口10万対

<男性>



人口10万対

<女性>



	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
胃	74.3	69.4	64.8	55.6	55.9
肺	66.7	63.1	64.4	63.5	60.1
大腸	75.5	69.6	72.1	68.8	70.9
すい臓	15.1	15.9	15.7	15.3	17.9
肝臓	22.6	20.5	20.5	19.2	19.2
前立腺	67.5	65.8	71.9	64.0	75.7
膀胱	15.3	13.1	14.4	14.2	14.7

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
胃	23.1	22.3	21.8	21.9	22.4
肺	26.8	23.8	28.0	25.4	22.9
大腸	46.7	45.6	43.3	46.5	48.3
すい臓	10.3	11.5	11.7	11.1	11.2
肝臓	7.4	7.7	6.5	6.1	6.4
乳	84.4	91.7	88.0	89.1	88.9
子宮	31.2	34.6	34.6	34.6	34.0

●がんの罹患状況

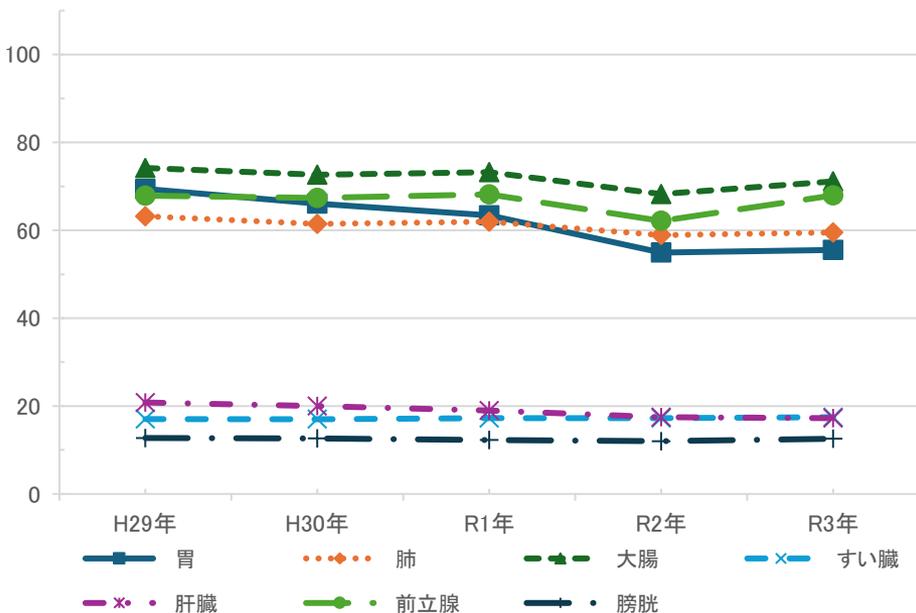
2-2 部位別年齢調整罹患率の推移（全国）

罹患率の推移はおおむね全国と同様の傾向となっておりますが、女性の乳がんの罹患率が低い一方、男性の前立腺がん及び女性の大腸がんの罹患率がやや高めです。

<図-4> 全国の部位別年齢調整罹患率の推移（令和3年）

人口10万対

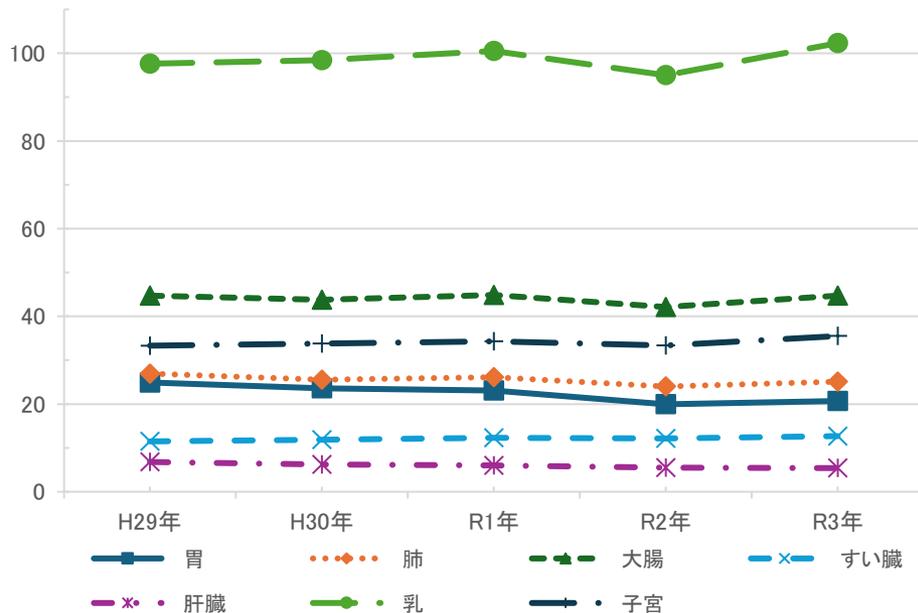
<男性>



	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
胃	69.4	66.1	63.4	54.9	55.5
肺	63.2	61.5	61.9	58.9	59.5
大腸	74.2	72.7	73.2	68.2	71.1
すい臓	17.0	17.0	17.3	17.2	17.5
肝臓	20.8	20.0	19.0	17.5	17.2
前立腺	67.9	67.4	68.2	62.1	67.9
膀胱	12.7	12.6	12.2	12.0	12.6

人口10万対

<女性>



	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
胃	24.9	23.6	23.1	19.9	20.7
肺	26.9	25.5	26.1	24.0	25.1
大腸	44.7	43.8	44.9	42.1	44.7
すい臓	11.5	11.9	12.3	12.2	12.7
肝臓	6.8	6.2	6.0	5.5	5.4
乳	97.6	98.5	100.5	95.0	102.3
子宮	33.3	33.8	34.3	33.3	35.5

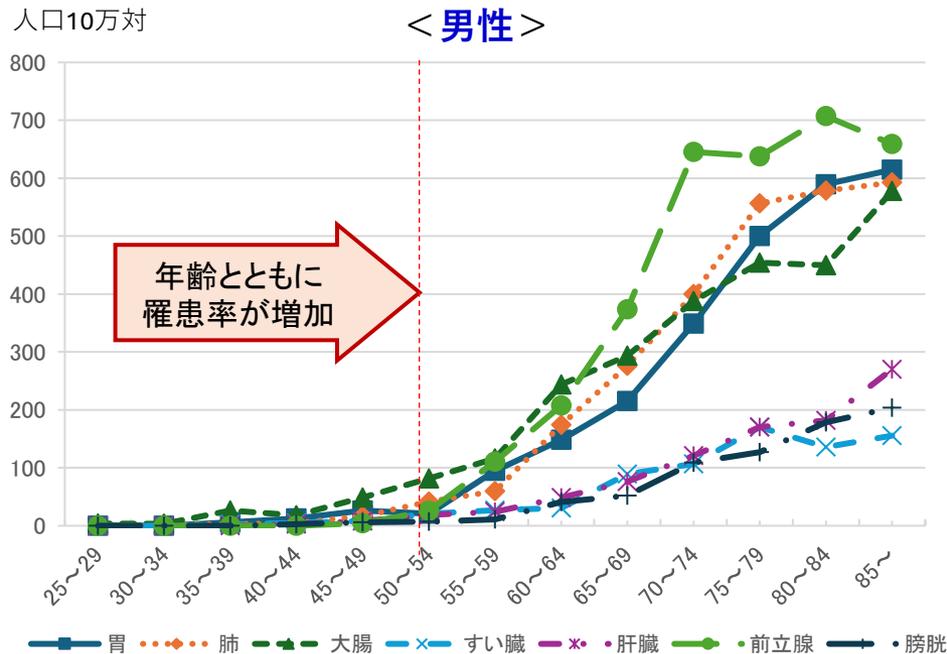
●がんの罹患状況

3-1 年齢階級・主要部位別粗罹患率（山口県）

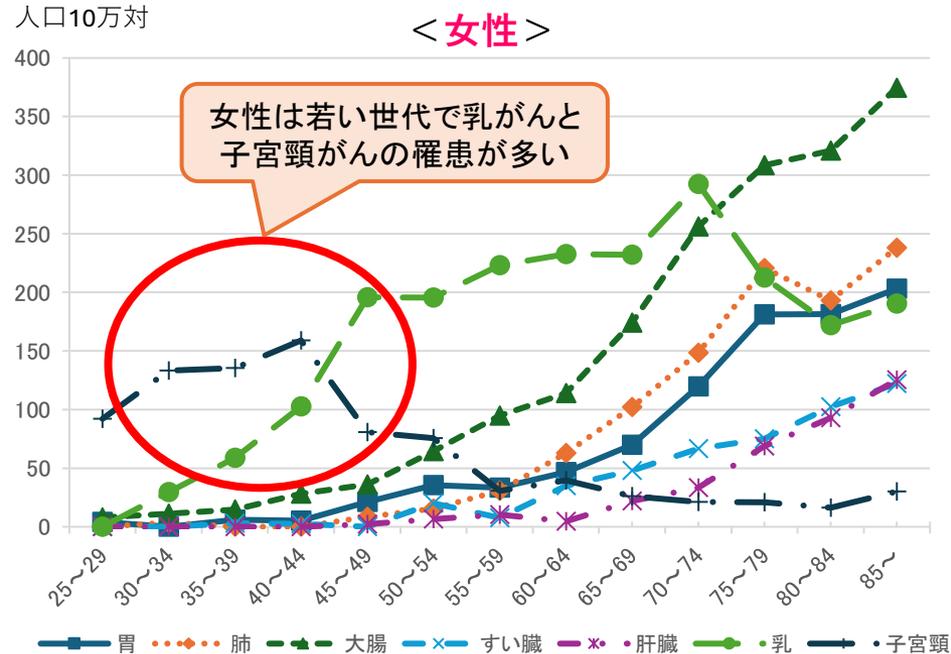
男性は年齢とともに罹患率が徐々に高まり、特に50代以降で罹患率が上昇しています。

女性も同様の傾向があるものの、子宮頸がんは20代から40代の若年層の罹患率が高く、乳がんは40代から罹患率が高くなっています。

＜図-5＞ 山口県の年齢階級・主要部位別粗罹患率（令和3年） ※上皮内がんを除く（子宮頸のみ上皮含む）



	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
胃	0.0	0.0	5.9	12.8	26.5	20.9	94.6	148.7	215.2	349.1	500.0	589.3	614.8
肺	0.0	3.3	2.9	5.1	16.3	41.9	59.5	174.4	276.1	400.0	556.8	578.6	592.6
大腸	3.6	3.3	26.5	17.9	49.0	81.4	116.2	243.6	293.5	387.7	454.1	450.0	577.8
すい臓	0.0	0.0	2.9	5.1	8.2	20.9	27.0	30.8	89.1	107.0	170.3	135.7	155.6
肝臓	0.0	0.0	0.0	2.6	8.2	18.6	24.3	48.7	76.1	121.1	170.3	182.1	270.4
前立腺	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	25.6	110.8	207.7	373.9	645.6	637.8	707.1	659.3
膀胱	0.0	0.0	0.0	2.6	6.1	7.0	10.8	41.0	52.2	108.8	127.0	178.6	203.7



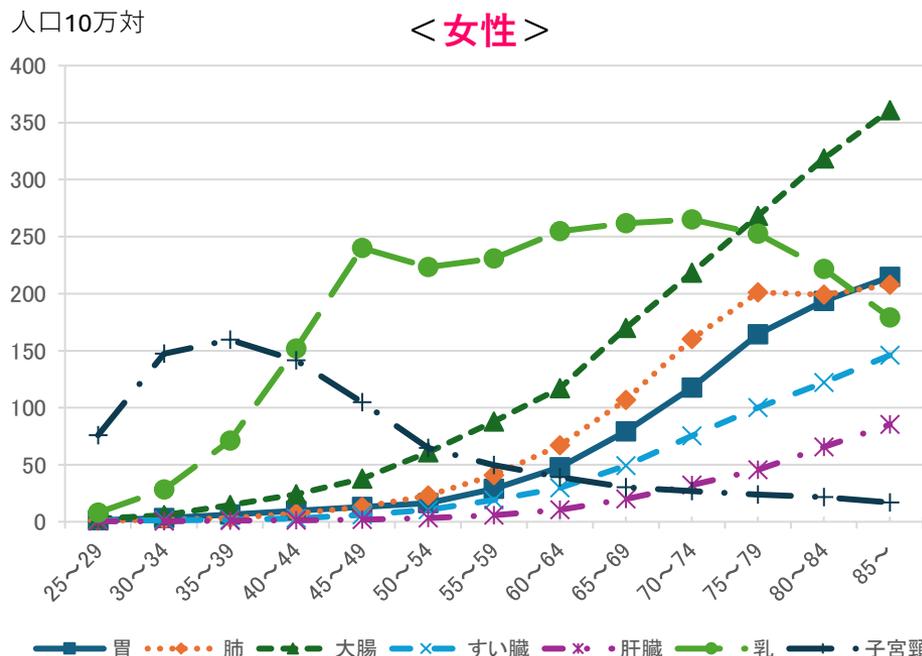
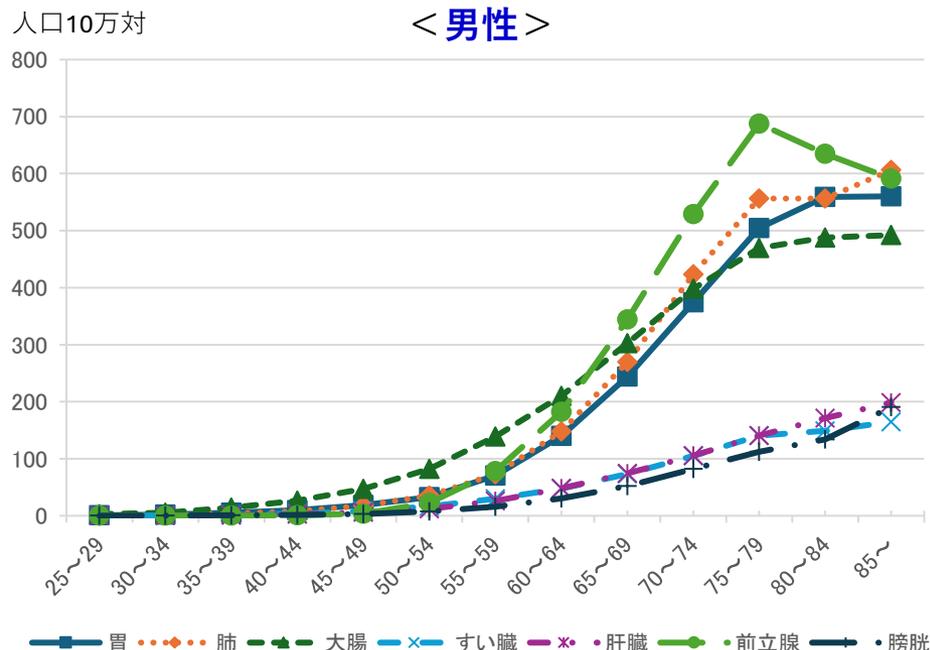
	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
胃	4.0	0.0	5.9	5.1	21.3	35.6	33.3	46.5	70.0	119.7	181.3	181.4	203.2
肺	0.0	3.7	0.0	0.0	8.5	15.6	30.8	62.8	102.0	148.5	220.8	193.0	238.1
大腸	8.0	11.1	14.7	28.2	36.2	64.4	94.9	114.0	174.0	256.1	308.3	320.9	374.6
すい臓	0.0	0.0	2.9	2.6	0.0	20.0	7.7	34.9	48.0	66.7	75.0	102.3	122.2
肝臓	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	6.7	10.3	4.7	22.0	33.3	68.8	93.0	125.4
乳	0.0	29.6	58.8	102.6	195.7	195.6	223.1	232.6	232.0	292.4	212.5	172.1	190.5
子宮頸	92.0	133.3	135.3	159.0	80.9	75.6	30.8	39.5	26.0	21.2	20.8	16.3	30.2

●がんの罹患状況

3-2 年齢階級・主要部位別粗罹患率（全国）

罹患率の推移はおおむね全国と同様の傾向となっていますが、女性の乳がんで、40代の罹患率は低く、70～74歳の罹患率がやや高めです。

＜図-6＞ 全国の年齢階級・主要部位別粗罹患率（令和3年） ※上皮内がんを除く（子宮頸のみ上皮含む）



	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
胃	0.8	2.0	5.4	9.5	18.7	32.4	70.2	140.2	244.2	374.5	504.6	559.3	560.1
肺	0.5	1.3	3.9	7.9	17.6	35.5	72.9	147.7	269.8	423.0	556.1	556.5	606.2
大腸	2.8	5.5	14.4	26.2	47.2	81.9	138.6	210.2	302.7	398.1	469.4	488.0	492.1
すい臓	0.5	0.6	1.4	3.9	8.4	16.7	29.8	47.9	73.1	105.1	140.4	149.1	164.7
肝臓	0.2	0.5	1.1	2.3	5.8	11.9	25.9	48.0	74.4	105.6	140.6	171.3	198.6
前立腺	0.1	0.1	0.1	0.6	3.8	22.8	78.3	182.5	344.5	528.8	687.8	634.8	591.5
膀胱	0.1	0.4	0.6	1.4	3.1	7.5	15.9	30.3	51.9	82.3	112.0	133.9	190.6

	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
胃	1.3	3.2	6.4	9.5	13.1	16.4	28.7	47.6	79.3	117.5	164.4	193.6	214.6
肺	0.9	1.7	3.2	7.1	12.8	23.0	40.7	66.8	106.7	160.3	201.0	199.0	207.6
大腸	2.6	5.6	14.5	24.0	37.6	60.8	87.7	116.9	170.0	218.4	268.1	318.4	360.9
すい臓	1.3	1.2	2.0	3.0	6.0	10.5	19.2	29.8	49.0	75.2	100.2	122.0	146.0
肝臓	0.5	0.3	1.1	1.3	1.9	3.3	5.8	10.4	19.8	32.1	45.6	65.6	85.2
乳	8.0	28.2	71.1	151.9	240.0	223.4	230.8	254.7	261.6	265.0	252.4	221.8	179.1
子宮頸	75.9	147.3	159.5	141.5	104.7	64.6	49.6	39.1	30.2	26.8	23.7	21.6	16.9

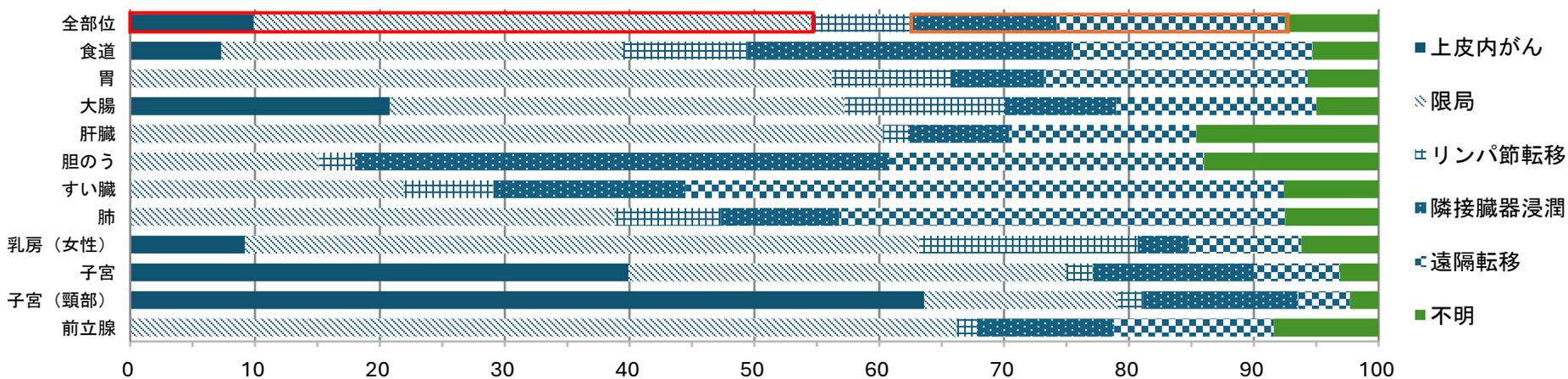
●がんの罹患状況

4 部位別発見時の病期（ステージ）

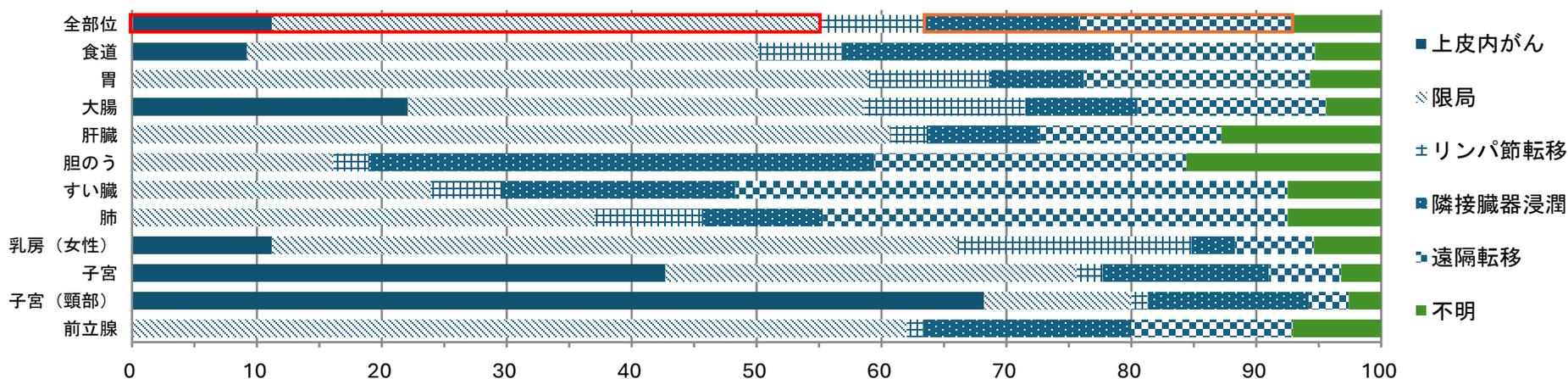
がんの進行度である病期について、全部位では、5割強ががんの発生した臓器内に止まっている「上皮内がん」又は「限局」の状態、約3割が「隣接臓器への浸潤」や「遠隔転移」の状態で見られており、全国と同じ傾向となっています。

＜図-7＞部位別発見時の病期（令和3年）※ 全部位、食道、大腸、乳房、子宮、子宮（頸部）については、上皮内がんを含む

【山口県】



【全国】



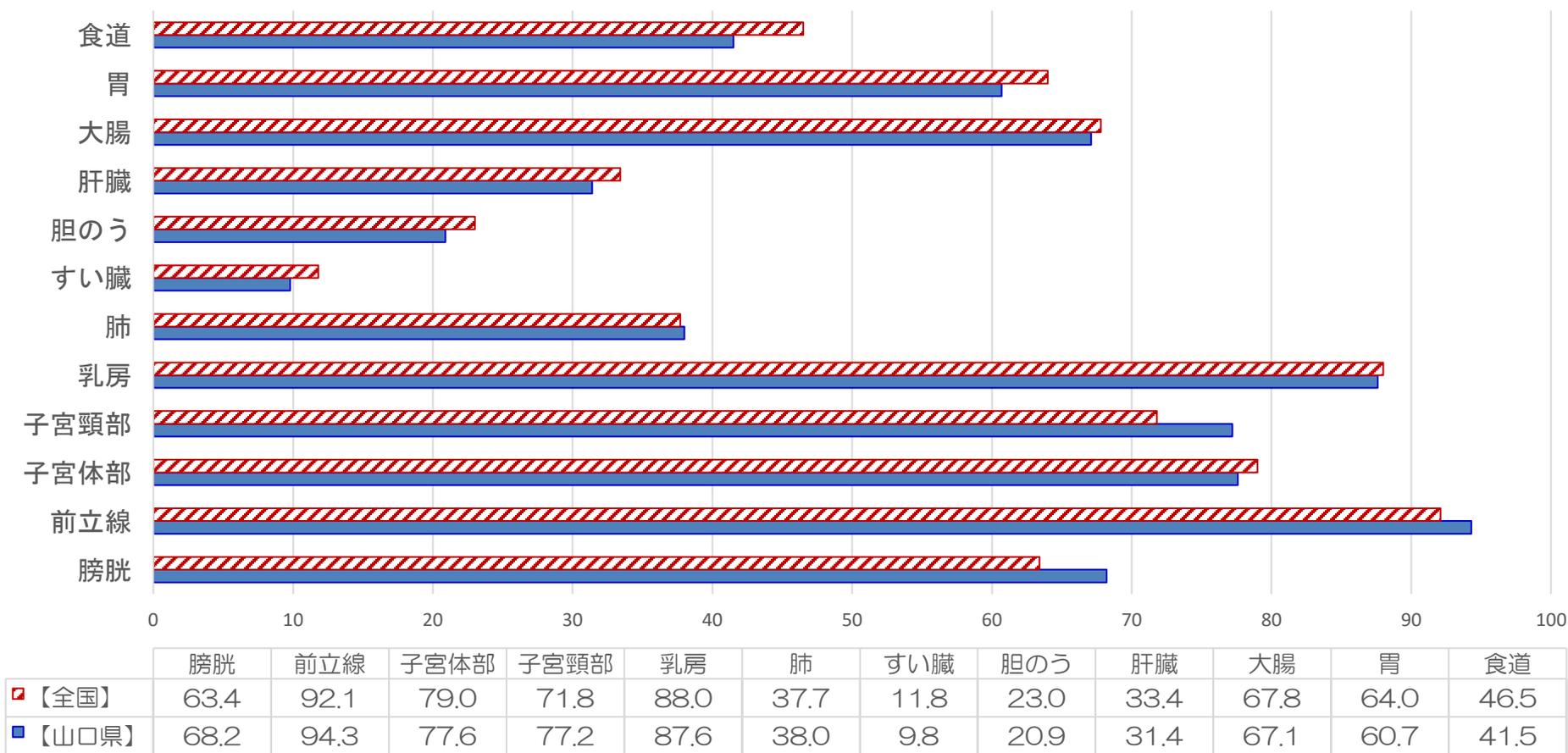
●がんの罹患状況

5 5年生存率

本県における平成28年診断症例の5年生存率は、前立腺が94.3%と最も高く、次いで乳房、子宮（体部、頸部）の順になっており、全国と同様の傾向が見られます。

※5年生存率とは…がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合。
100%に近いほど治療で生命を救えるがんであることを意味します。

<図-8> 部位別5年純生存率（平成28年診断症例：AYA・成人（15歳以上）のみ）

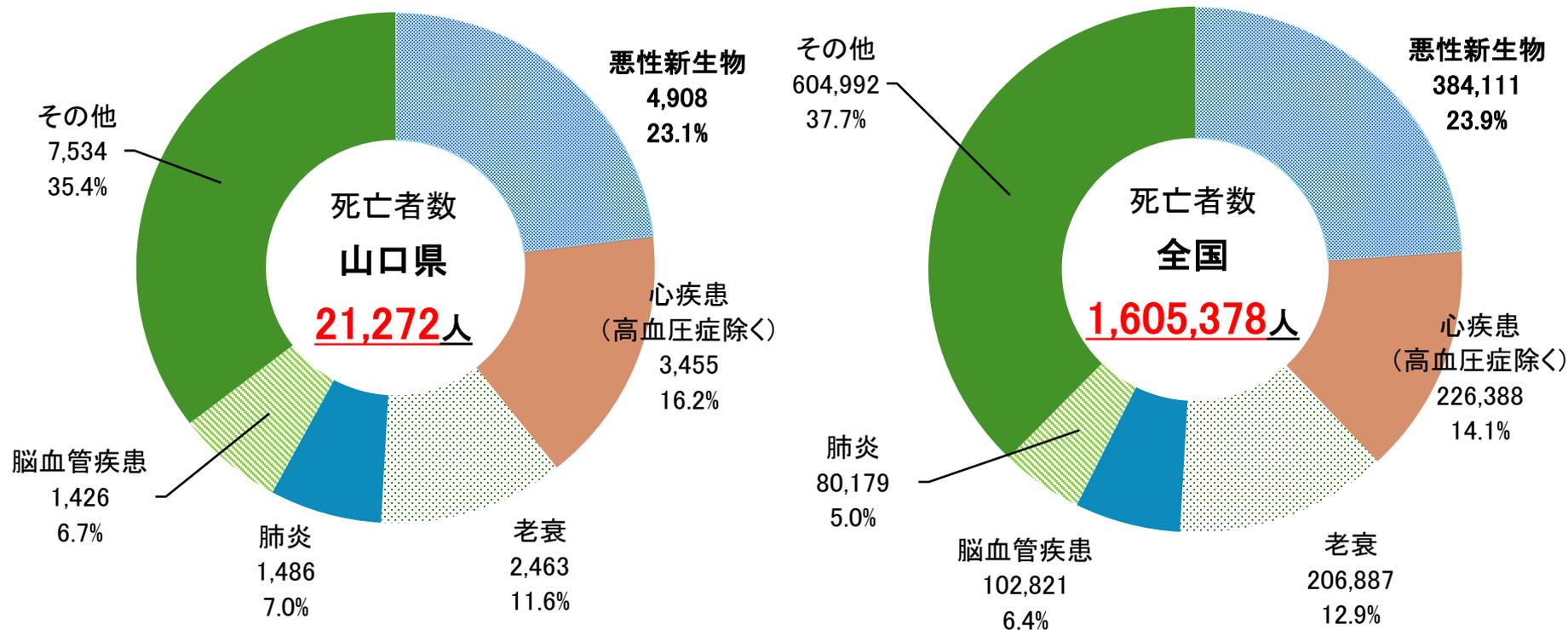


●がんによる死亡の状況

6 主要死因別死亡者数

令和6年における本県のがんによる死亡者数は4,908人（男性：2,771人、女性：2,137人）となっています。がんによる死亡割合は23%を占め、約4人に1人の方ががんで亡くなっています。

＜図－9＞主要死因別死亡者数（令和6年）

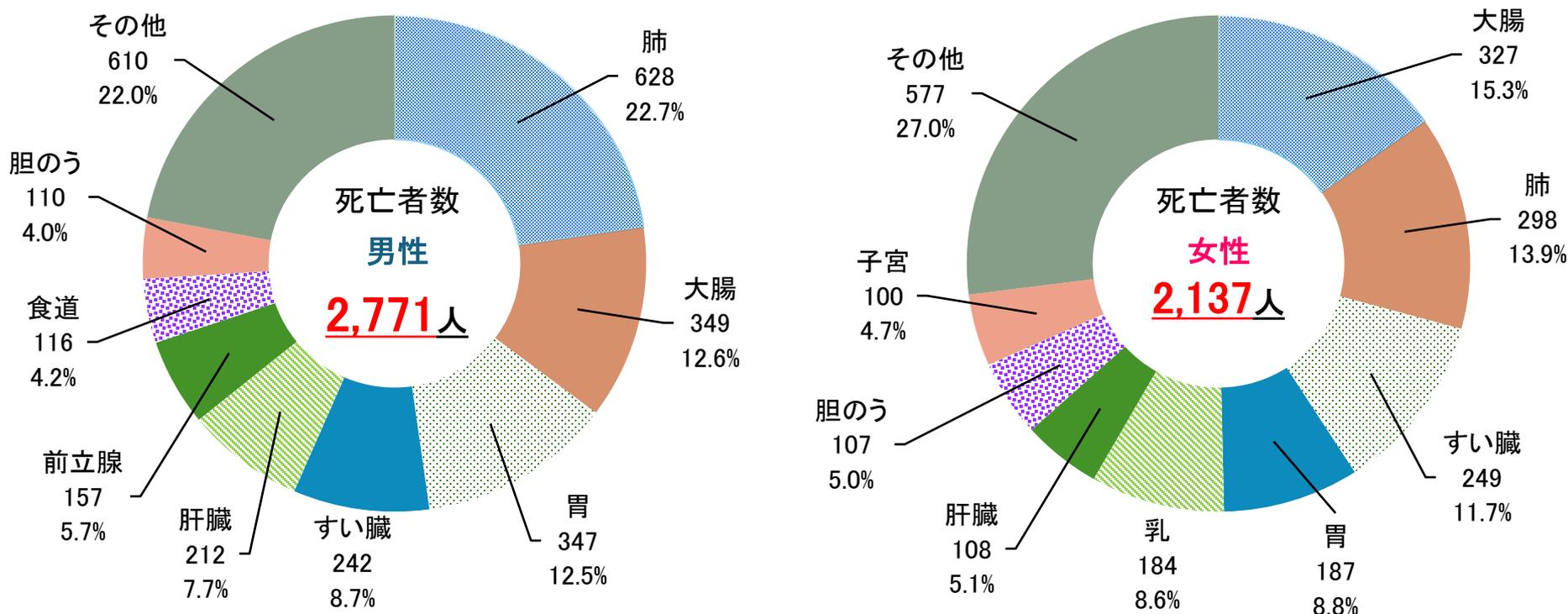


●がんによる死亡の状況

7 部位別死亡割合（山口県）

令和6年における本県のがん死亡者における部位別死亡者を男女別にみると、男性では肺がん、大腸がん、胃がんの順で多く、女性では大腸がん、肺がん、すい臓がん、胃がんの順で多くなっています。

<図-10> 部位別死亡割合（令和6年）



●がんによる死亡の状況

8 部位別がん粗死亡率の推移（山口県）

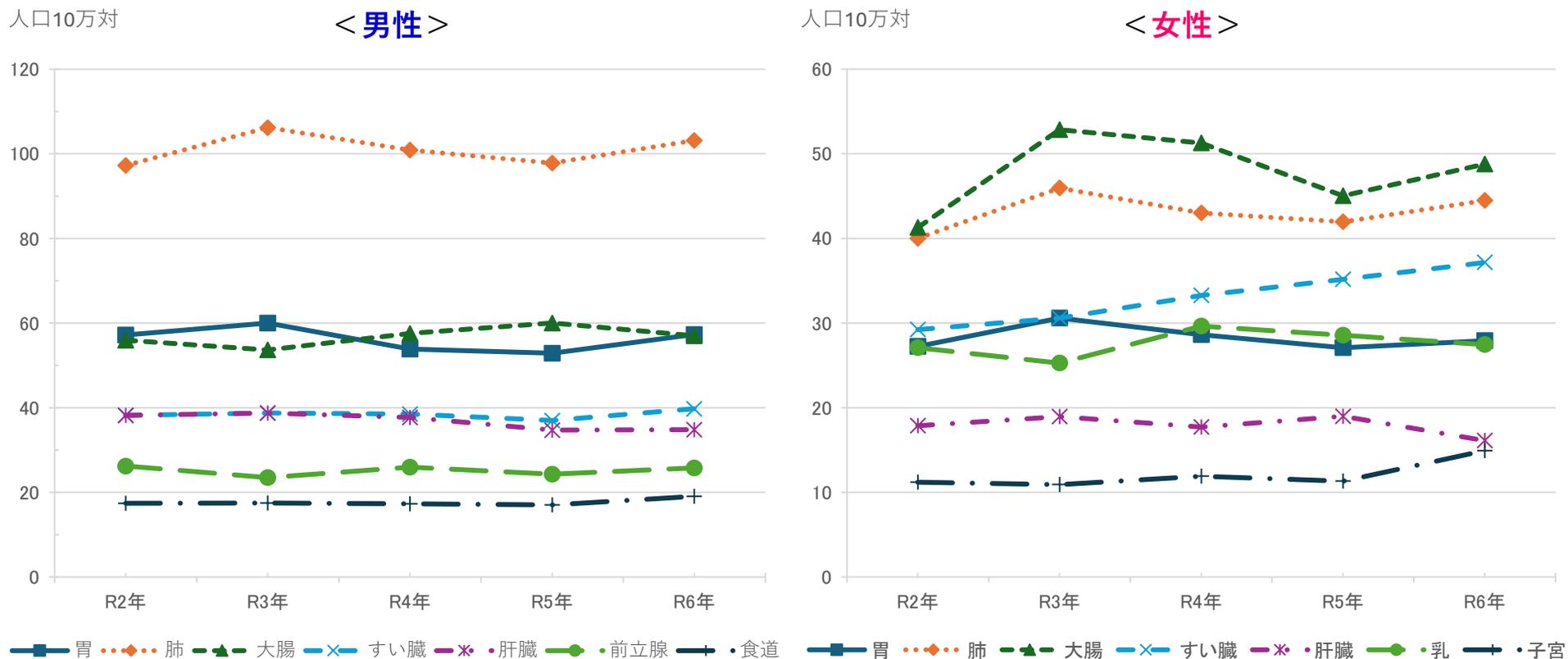
部位別粗死亡率の推移をみると、男性の肺がん、女性の大腸がんは、過去5年間で見ても第1位となっています。

男性は、近年ほとんどのがんで減少傾向にありましたが、令和6年は大腸がん及び肝臓がんは減少しています。

女性は、乳がん、肝臓がんは減少していますが、その他のがんは増加しています。

※粗死亡率とは…1年間の死亡者を人口で除したもの（年齢調整を行っていないもの）

＜図-11＞部位別がん粗死亡率の推移（令和6年）



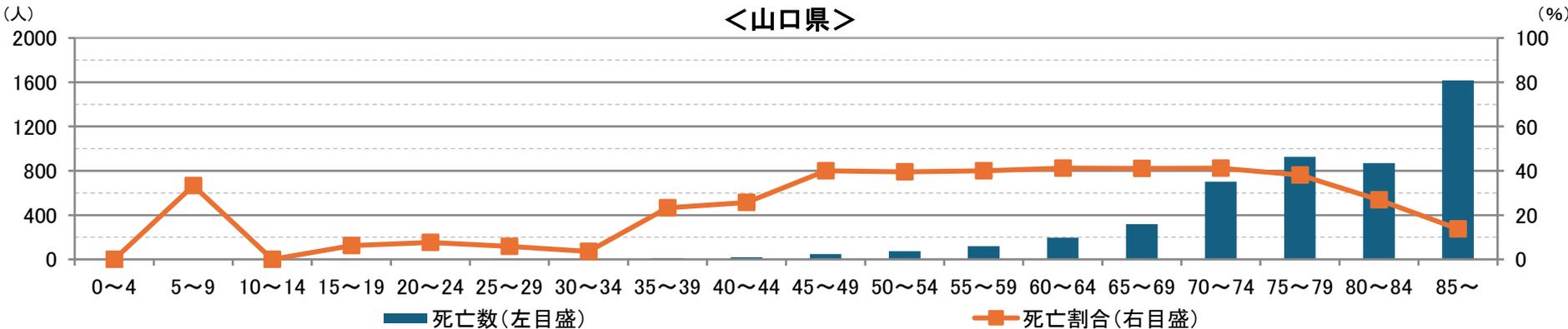
●がんによる死亡の状況

9 年齢階級別がん死亡者数の状況

本県のがんによる死亡者は、全国と同様に30代後半から上昇し、60代から70代前半にかけて全死因に対する死亡割合が最も高くなっています。

＜図-12＞年齢階級別がん死亡者数及び全死因に対する死亡割合（令和5年）

＜山口県＞

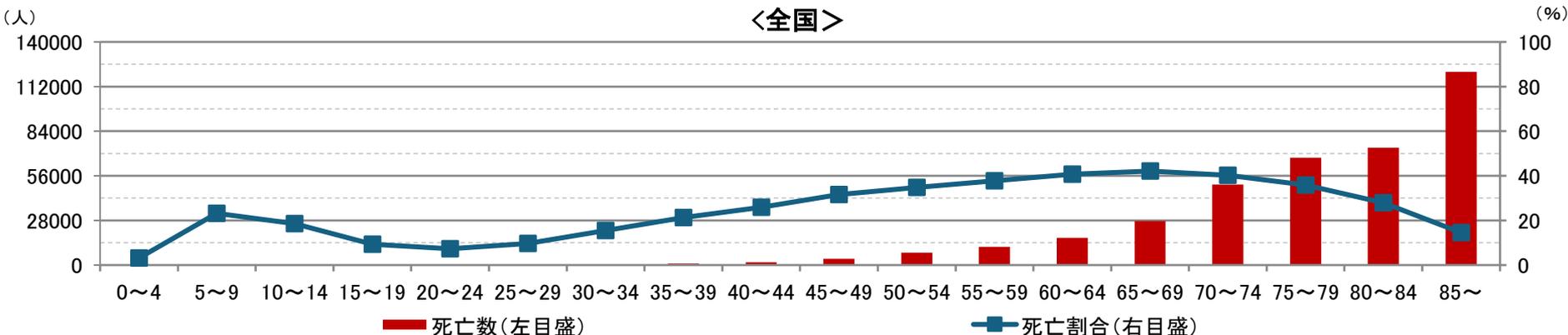


■ 死亡数(左目盛)

■ 死亡割合(右目盛)

	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
死亡数(左目盛)	0	1	0	1	1	1	1	10	20	48	75	120	197	318	702	927	869	1,617
死亡割合(右目盛)	0.0%	33.3%	0.0%	6.3%	7.7%	5.9%	3.6%	23.3%	25.6%	40.0%	39.5%	40.0%	41.2%	41.1%	41.1%	38.1%	26.8%	13.7%
人口階層別死者数	14	3	6	16	13	17	28	43	78	120	190	300	478	774	1,706	2,432	3,240	11,814

＜全国＞



■ 死亡数(左目盛)

■ 死亡割合(右目盛)

	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
死亡数(左目盛)	56	81	95	120	158	223	428	902	1,768	3,913	7,700	11,330	17,064	27,566	50,545	67,336	73,569	121,257
死亡割合(右目盛)	3.1%	23.2%	18.5%	9.3%	7.3%	9.7%	15.5%	21.3%	25.9%	31.6%	34.8%	37.8%	40.7%	42.1%	40.2%	35.9%	27.9%	14.5%
人口階層別死者数	1,785	349	513	1,284	2,170	2,299	2,765	4,237	6,835	12,401	22,134	29,979	41,886	65,458	125,681	187,802	263,926	833,874

●がんによる死亡の状況

10 年齢調整死亡率（75歳未満）の推移

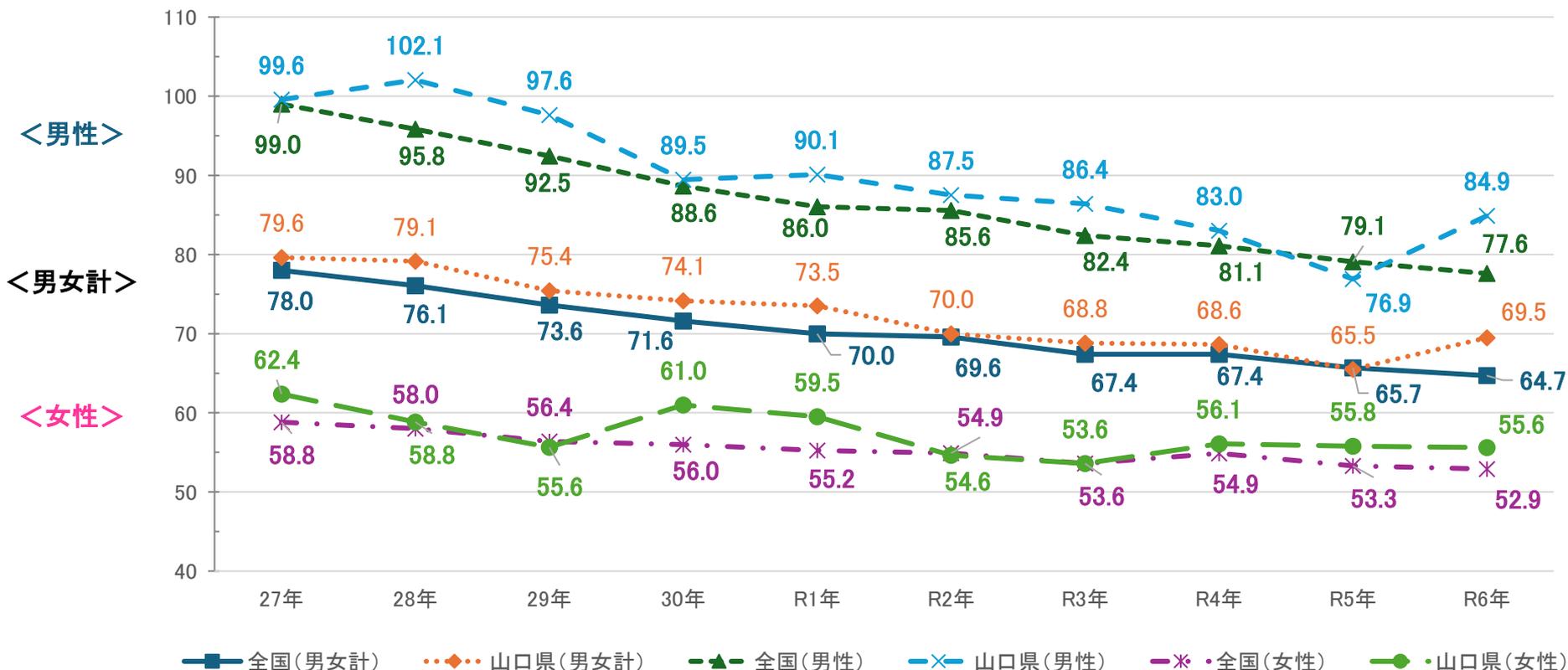
本県のがん年齢調整死亡率（75歳未満）は、改善（減少）の傾向にありましたが、令和6年度の推計では、男性は増加、女性は微減しており、全国に比べてやや高くなっています。

※年齢調整死亡率とは…年齢構成の異なる地域間や年次間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率

※がんは高齢になるほど罹患や死亡が多くなることから、年齢構成が異なる集団での率を比較するためには、その影響を補正して算出した本指標を用います

<図-13>年齢調整死亡率（75歳未満）の推移（令和6年）

人口10万対



●がん患者数の状況

令和5年患者調査によると、本県でがんにより継続的に医療を受けている患者は、令和5年10月現在、約2万8千人と推計されています。

また年齢階級別に見ると、そのうち生産年齢人口（15歳から64歳まで）にあたる人は約6千人となっており、がん患者全体に占める割合は約27%となっています。

<表-1> 患者調査からみたがん患者数（単位：千人）

○総数

	山口県	(参考) 全国
令和2年	43	3,656
令和5年	28	3,939

○年齢階級別数

		計	0～14歳	15～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
令和2年	男女計	43	0	0	1	3	5	34
	男	22	0	0	0	1	3	18
	女	21	0	0	1	2	2	16
令和5年	男女計	28	0	0	0	3	3	22
	男	15	0	0	0	0	1	14
	女	13	0	0	0	3	2	8

※ 患者調査は、病院及び診療所を利用する患者について、その属性、入院・来院時の状況及び傷病名等の実態を明らかにし、併せて地域別患者数を推計することにより、医療行政の基礎資料を得ることを目的とし、3年に1回実施

※ 全医療機関を対象とした全数調査ではなく、無作為抽出された病院・診療所からデータを収集し、その結果を全国規模へ推計

※ 集計単位は千人

●がん検診受診率の状況

国民生活基礎調査によると、がん検診受診率は、全国平均を下回っています。

[市町・職域等の実施するがん検診受診率<国民生活基礎調査>]

区 分		平成28年		令和元年		令和4年		R4-R1 伸び (ポイント)	R4 全国比較 (ポイント)
		山口県	全国	山口県	全国	山口県	全国		
胃がん	男	43.5%	46.4%	50.6%	54.2%	51.5%	53.7%	0.9	▲2.2
	女	29.9%	36.5%	35.4%	45.1%	36.2%	43.5%	0.8	▲7.3
肺がん	男	50.0%	51.0%	50.0%	53.4%	51.6%	53.2%	1.6	▲1.6
	女	37.5%	41.7%	38.9%	45.6%	39.0%	46.4%	0.1	▲7.4
大腸がん	男	39.1%	44.5%	41.4%	47.8%	43.5%	49.1%	2.1	▲5.6
	女	29.2%	38.5%	30.2%	40.9%	33.0%	42.8%	2.8	▲9.8
乳がん	女	37.3%	42.3%	35.4%	43.7%	34.9%	43.6%	▲0.5	▲8.7
子宮頸がん	女	36.1%	44.9%	35.4%	47.4%	34.8%	47.4%	▲0.6	▲12.6

※ 対象年齢：40歳(子宮20歳)～69歳

※ 国民生活基礎調査におけるがん検診受診状況調査は、3年ごとに実施

※ 子宮頸がん及び乳がんは過去2年間の受診率